

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年6月7日（火）

2 確認箇所

G4北タンクエリア、G5タンクエリア、モニタリングポストNo. 8周辺

3 確認項目

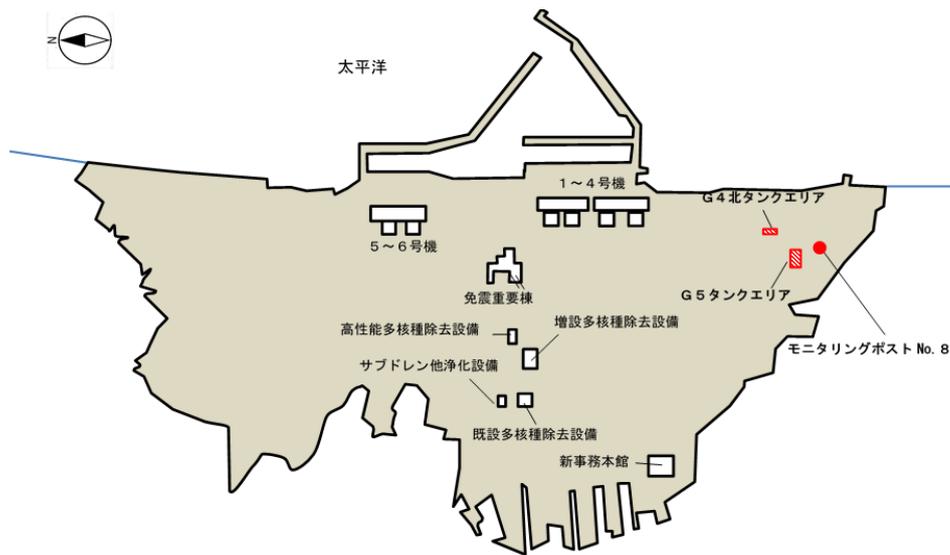
- (1) G4北タンクエリア及びG5タンクエリアにおける溶接型タンク設置工事の進捗状況
- (2) モニタリングポストNo. 8周辺の状況

4 確認結果の概要

- (1) G4北タンクエリア及びG5タンクエリアにおける溶接型タンク設置工事の進捗状況

東京電力では多核種除去設備等処理水の海洋放出にあたり、K4タンク群の用途を変更して放射能濃度の測定、評価用の設備を新たに構築することとしている。K4タンク群を用途変更することに伴う代替として、G4北タンクエリア及びG5タンクエリアに多核種除去設備等処理水を保管する溶接型タンクを設置する工事が令和3年7月から開始されていたが、同年12月に溶接作業中の作業員の熱傷災害が発生したことから一時作業が中断されていた。今年1月から再発防止対策が実施され、作業が再開されたことから、進捗状況を確認した。（図1）（前回確認：令和4年4月15日）

- ・ G4北タンクエリアでは、全6基のタンクの設置、溶接、塗装が完了しており、堰の目地の仕上げなどの作業が進捗していた。（写真1）（写真2）
- ・ G5タンクエリアでは、全17基のタンクの設置、溶接、塗装が完了しており、堰の設置が進行していた。エリア内では水位計のケーブル敷設作業が行われていた。（写真3）
- ・ 南側、東側の内堰の建設中だった。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)

G4北タンクエリアの状況

(今回(6月7日)北西側から撮影)



(写真2-1)

G4北タンクエリアの堰の状況

(前回(4月15日)撮影)



(写真2-1)

G4北タンクエリアの堰の状況

(今回(6月7日)撮影)



(写真3-1)
G5タンクエリアの状況
(前回(4月15日)南東側から撮影)



(写真3-2)
同左
(今回(6月7日)南東側から撮影)



(写真4)
G5タンクエリア堰の設置状況

(2) モニタリングポストNo. 8周辺の状況

5月27日午後1時35分ごろ、モニタリングポストNo. 8(以下「MP-8」という。)近傍敷地境界付近の連続ダストモニタ(以下「DM」という。)が停止し、監視ができない状態になった。原因は、周辺の排水枡にごみが堆積し閉塞したことでMP-8周辺が冠水、DM局舎内に水が浸入し、機器が冠水したことによるものと推定されている。当日(6月7日)は雨が降っていたことから、MP-8周辺の状況を確認した。

- ・排水枡につながる側溝の周囲は除草、清掃されており、ごみなどは落ちていなかった。(写真6)
- ・原因になったと推定されている排水枡を確認したところ、水は溜まっておらず、排水できている状況だった。(写真7)



(写真5)
MP-8付近の状況
(今回(6月7日)撮影)



(写真6-1)
MP-8周辺の状況
(前回(5月30日)撮影)

(写真6-2)
MP-8周辺の状況
(今回(6月7日)撮影)



(写真7-1)
MP-8周辺の排水柵の状況
(前回(5月30日)撮影)

(写真7-2)
MP-8周辺の排水柵の状況
(今回(6月7日)撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。